

### 防災講演会、防災セミナー開催

#### ■ はじめに

北海道技術士センター 防災研究会（会長 高宮則夫・副会長 松井義孝）では、研究活動の一環として、平成14年8月1日に「防災研究セミナー」を開催しました。このセミナーは、建設コンサルタンツ協会北海道支部 札幌設計同友会の共催でもあり、ホテル札幌ガーデンパレスの会場には防災研究会会員を含め120名が出席し盛況に開催されました。

冒頭、高宮則夫防災研究会会長より、防災研究会の活動内容・講演会の主旨説明の開会挨拶があり、引き続き講演に入りました。

#### ■ セミナー講演会

セミナーは、防災研究に関する2テーマの講演で、講演テーマ1は「2000年有珠山噴火災害 復興計画について」と題して、北海道総合企画部 有珠山活動災害復興対策室 参事 樺澤 孝氏より、講演テーマ2は「危機迫る首都圏の防災に向けて、そして三宅島では！」と題して、日本技術士会 本部災害対応調査委員会 副会長兼建設部会長 山口 豊氏より、それぞれ講演をしていただきました。

講演テーマ1の概要は、平成12年3月31日に22年ぶりに噴火した有珠山の火山活動状況を中心に、それに対する具体的防災対応の内容でありました。講演で報告された防災対応は、以下の項目です。

1. 災害対策体制の整備
  2. 住民避難
  3. 住民支援活動
  4. 産業・雇用対策
  5. 義援金
  6. 集団移転と用地買収
  7. 復興対策
- (1)復興計画の策定
  - (2)避難施設緊急整備計画
  - (3)火山防災激甚災害対策特別緊急事業
  - (4)インフラ整備
  - (5)Cゾーン（火砕流あり）設定と土地利用
  - (6)洞爺湖周辺エコミュージアム構想
  - (7)ボランティア団体活動

また、講演テーマ2の概要は、(社)日本技術士会災害対応調査委員会が平成14年3月に取りまとめた「災害対応調査委員会報告書」をベースに、現在までの現場災害対応・今後予想される首都圏の災害対

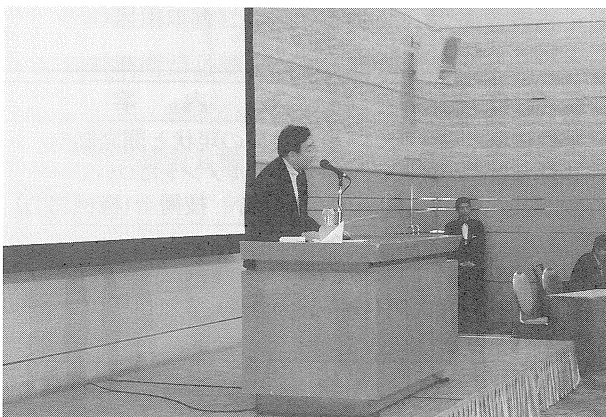


写真-1 高宮防災研究会会長 開会挨拶

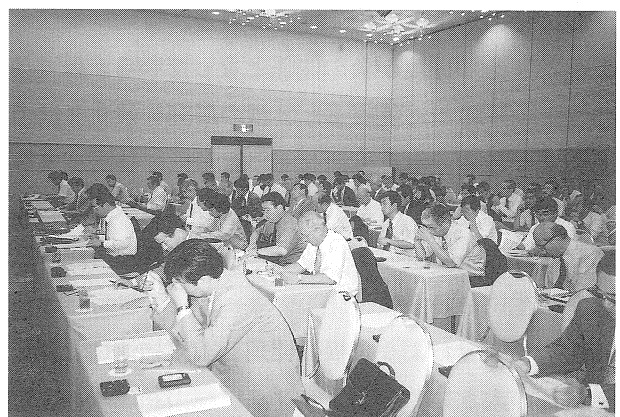


写真-2 防災研究セミナー



写真-3 講演の様子



写真-4 情報交換会の様子

策・技術士会の災害活動など、多岐にわたる防災研究セミナーにふさわしい内容でありました。

講演で報告された詳細の内容は、以下の項目です。

1. 災害とのかかわりについて
  1. 1 アメリカ災害対応の視察
  1. 2 阪神・淡路大震災ショック
  1. 3 技術士会の災害対応活動
2. 首都圏の災害とは
  2. 1 直下地震
  2. 2 三宅島さらに富士山
3. 南関東直下地震の恐れ
  3. 1 東京は地震の巣
  3. 2 大地震発生の切迫性は
  3. 3 地震の被害予想
4. 風水害とヒートアイランド化災害
  4. 1 風水害の状況
  4. 2 ヒートアイランドによる都市災害
  4. 3 緑化の推進、川の活用、風の道
5. 三宅島雄山噴火はいつ沈静化するか
  5. 1 三宅島はいつ沈静化するか
  5. 2 富士山はいつ噴火するか
  5. 3 さらに大島、浅間山は
6. 防災専門家の活躍が求められている
  6. 1 防災提言

## 6. 2 防災情報

## 6. 3 防災専門家データベース

講演終了後、質疑の時間を設けましたが、活発なディスカッションがなされました。今後、有事の際に、技術士がなすべき専門的活動の必要性を強く認識させる「防災研究セミナー」であったと考えています。

### ■ 情報交換会

セミナー終了後、会場をかえて情報交換会が催されました。出席者も多く非常に盛況でありました。高橋陽一北海道技術士センター会長の開会乾杯で始まり、途中でも多くに人たちに近況報告のマイクが回り、最後まで和やかな懇親深まる情報交換会でありました。

### ■ おわりに

防災研究会では、今期「都市型防災」を研究テーマのベースとして、今後も技術士が社会に果たす役割を念頭に、防災に関する認識向上の視点から5つの専門部会の研究を中心に、講演会・研究セミナー・シンポジウムなども含め広く研究活動を進めていきたいと考えております。

(文責：防災研究会幹事長 冨澤 幸一)